

笑顔あふれる大戸小

大戸小マスコットすぎっぴー



大戸小だより

[URL:http://oto-e.saitama-city.ed.jp/](http://oto-e.saitama-city.ed.jp/)



開校 145年 学校教育目標 ○かしこく ○やさしく ○たくましく

平成 29年 11月 1日
学校だより 11月号
さいたま市立大戸小学校
8 3 1 - 3 7 9 6
明治 6年 開校

館岩自然の教室・日光への修学旅行

校長 吉野 勇 人

日本は、季節の移り変わりがよくわかります。校庭の木々が徐々に色づく季節となりました。

9月中旬には5年生が、館岩自然の教室での体験活動ができました。10月中旬には6年生が、日光や戦場ヶ原の自然と歴史を学ぶ修学旅行を体験してきました。とても大事な思い出に残る集団宿泊学習でしたが、どのお子さんも見事にやり遂げました。大戸小学校をリードする高学年として、立派に務めていることを強く感じました。これから迎える校内音楽会、ふれあい広場、そして卒業式へ生かされると確信しています。

館岩自然の教室で毎年5年生はイワナさばきを行います。「かわいそうだよね」とか「こわいよ」と話していた児童の目が、イワナを目にすると、尊いものを扱う目になります。見事にイワナさばきを成功させ、炭焼きにして骨までおいしくいただくことができました。

私たちは生き物の命を頂き、自分たちの命の糧にしています。味噌汁や卵焼きも、全て動植物の命でできています。

イワナさばきを経験してきた5・6年生は、「命の尊さ」と食事の前の「いただきます」の意味を理解できるはずです。「(命を)いただきます」の意味をよく考え、食事の大切さ、お米を一粒でも貴重なものであること、食べ物を大切にすることについて話し合ってみてください。

「ごちそうさま」は、「御馳走様」と書きます。「馳」と「走」は、走るという意味があります。食材を育てるために走る人、食材を買い集めるために走る人、食材を店に並べるために走る人、そして心を込めて料理を作ってください方があります。「ごちそうさま」は、そういった方々の苦勞に対して感謝を表した言葉です。たくさんの人が走り回り、努力してくださることで、食卓や給食の料理となり、皆さんの前に並ぶことができるのです。

日本の言葉には、深い意味があります。これからの食事の時間には、言葉の意味をかみしめ、「いただきます」と「ごちそうさま」の言葉が言えるとよいと思います。

5・6年生の皆さんは、「いただきます」のもととなる貴重な体験をしました。「命を頂き、食べられることに感謝します。」ということをぜひ伝えてください。